

## 和地ひとみレポート No.463

東大和市でも1月18日より抗原定性検査キット配布事業を開始  
想定より希望者は少ない状況

## ■抗原検査キットの無料配送の状況は

…もう3年余、続くコロナ禍。昨年の10月から新規感染者が増加傾向になり「第8波到来」と言われていましたが、一部報道では、東京の「第8波」のピークは越えたとも。一方で、新たな変異株「XBB.1.5」の発生で、流行がさらに長期化するリスクが次々と発生していると言われてたり…。市民感覚では、何が真実なのか分かりづらい状況です。

…また、現在は全数把握を実施していないため、厚生労働省の専門家会合などは、「第8波」の感染状況については、「自治体の把握している感染者数よりも、さらに多いのではないかと」の声も上がっています。

…さらにこの冬は、インフルエンザとの同時流行の可能性が高かったことから、秋ごろから、発熱外来の診療がひっ迫することも懸念されていました。

…このような中、自身が陽性かどうか確認するための手段の一つとしては、抗原定性検査キットでの診断がありますが、東京都では、昨年からの対象年齢を拡大したり、期間を延長したりしながら、抗原定性検査キットの無料配布を実施。現在は、以下の内容で行われています。

## 【東京都の抗原定性検査キットの配布についての概要】

感染拡大に伴う診療・検査医療機関での検査・受診の集中を緩和するため、のどの痛み、発熱、咳、倦怠感等の症状が現れた場合に、まずは御自宅等で速やかに検査ができるよう、体外診断用医薬品として承認を受けた抗原定性検査キットを無料で配布。

※本検査キットは症状のある方が医療機関の受診前に使用するためのものであり、待機や療養の早期解除のために使用するものではない。

## ◆申し込み方法:都の専用サイトから

<https://tokyo-testkit.metro.tokyo.lg.jp/>

## ◆対象者:都内在住の方(長期滞在者を含む)

## ① 新型コロナを疑う症状がある方(有症状者)

申込時点で既に発熱等の症状がある方  
(濃厚接触者であるかどうかは問わない)  
原則翌日お届け・午後の申込は翌日発送、  
申込2回まで。

※ただし、申込数が1日7万キットに達した時点で、  
当日の受付は終了。

## ② 無症状の濃厚接触者

濃厚接触者となったときに、発症に備えて無症状のうちに  
申し込むもの。

申込から概ね2~3日程度でお届け・申込4回まで  
世帯申込可

※ただし、申込数が1日5万キットに達した時点で、  
当日の受付は終了



## ■東大和市でも抗原検査キット配布を開始

…東大和市においては、新型コロナウイルス感染症の陽性と診断され、自宅療養を行っている方の不安軽減を図るため、「食料品・日用品」を配送する支援策を続けており、東京都が要件を変更しても(対象者を縮減しても)、市は従前どおり、この支援を継続していました。

…しかし、1月18日からは、その対象者や要件を以下の通り変更しています。

## 【1月18日からの東大和市の食料品等支援の内容】

国において、同居する濃厚接触者が、感染対策を行った上で食料品等の購入のために短時間の外出をすることは、不要不急の外出にあたらぬとされ、都においても、食料品等の支援を受けられる方の対象者及び要件が改められていることから、市も対象者を変更する。

## ◆対象者

基本的に陽性者とする。

また、自身で食料品の調達等ができない方への配送とし、  
下記①~③の対応ができる方は対象とならない。

- ① 自身でネットスーパーや民間事業者の宅配サービスなどで、食料品等の調達ができる方
- ② 同居の親族(濃厚接触者)がおり、その方の体調の変化等がなく、マスクの着用などの感染対策を実施し、食料品等の調達ができる方
- ③ 近所に親戚や友人がおり、食料品等の調達ができる方

…上記の通り、食料品等支援の対象者は狭まりましたが、前述の都と同様に「抗原定性検査キットの配布」を同日1月18日より開始しました。

…対象者については、基本的に東京都と同様の①、②の東大和市在住の人。また、自身で検体を採取することが可能な方=保護者等の方が、ご本人から検体を採取することはNGとなっています。さらに、当然のことですが、送付された検査キットは、必ず申し込んだ本人が使用すること、また、譲渡や販売・転売は絶対にしないことが条件となっています。

(裏面に続く)

## 【東大和市の抗原定性検査キットの配布についての概要】

### ◆申し込み方法:市のホームページの専用様式から

市のホームページのトップページ →健康・福祉→新型コロナウィルス感染症 →生活者支援・事業者支援→自宅療養者支援→抗原定性検査キットの配布について

### ◆受付日時:平日の午前8時半から正午まで

### ◆数量など:1日50キットを上限。一人当たり1個/日

…また、この「抗原定性検査キット」の検査結果別の対応については、以下の通りとなっています。

### 【陽性だった場合】

▶結果が陽性の場合、医療機関を受診または陽性者登録センターに Web 登録する。

▶検査結果をスマートフォン等で画像として保存し、提示(登録)できるようにしておく。

▶医師の判断で受診時に再度検査を行わず、この検査の結果を確定診断に用いる場合がある。

### 【陰性だった場合】

▶この検査の結果が「陰性」でも、感染している可能性を否定するものではない。マスク着用や手指消毒等、感染予防策を徹底し、症状が続いたり悪化したりした際には、医療機関を受診。

…「陽性だった場合」に登録しなければならない「陽性者登録センター」。この陽性者登録センターは、医療機関を受診しなくても、自宅等での自主検査で「陽性」となった場合、医師の判断により、自主検査の結果を確定診断する機関です。このセンターでの診断結果はメール等で知らされ、登録することにより、健康観察サービス、配食・パルスオキシメーター貸与、宿泊療養が利用できるようになるとのことです。

## ■予算は?申し込み状況は?

…今回、市が新たに始めた「抗原定性検査キットの無料配布」。このキットもタダではないので、予算措置をしなければならないのでは?と市に確認したところ、キット 3,000 個が都から提供されたとのこと。よって、市の経費は郵送料(定形外郵便で発送)のみとのことでした。

…また、都は提供数の増量を要望すれば、対応してくれるような様子だったとのことですが、先行して始めていた近隣市の状況も参考に、1日の上限数を50個としたとのこと。この数量の根拠は、配布予定の日数で3,000個を割り返した結果とのことでした。

…また、この市のサービスの利用状況については、申し込みが多い日でも20個、通常はおおむね1日当たり4~5個程度の申込状況とのことでした。

…まだ開始して数日しか経過していないので、周知が行き届いていないのか。それとも、ニーズが少ないのか。このあたりは、もう少し様子を見る必要があると思います。

…また、この「抗原定性検査キットの無料配布」の実施期限は未定。市では、「当面の間」としており、変更の際は、あらためて市のホームページにて公表することです。

## ■無料抗原検査キットが申し込めない場合は

…前述のとおり、「抗原定性検査キットの無料配布」に申し込める対象者は東京都も東大和市も「症状がある人」と「症状が無い濃厚接触者」のみ。それ以外の人で、自身の感染の有無を確認したい場合は、令和3年12月25日から都が実施している「PCR等検査無料化事業」を利用することとなります。

## 【東京都のPCR等検査無料化事業の対象者】

発熱などの症状のない 無症状の都民の方で、下記に該当する方

▶感染している可能性に不安を抱える方

▶あらかじめ感染不安を解消しておきたい事情がある方

(想定される例)

・感染者の周辺で濃厚接触者と特定されなかった方のうち感染不安を抱える方

・事業所等で感染者との接触はなかったが、感染に不安を感じる方

・高齢者施設を訪問する予定がある方など、あらかじめ感染不安を解消しておきたい事情がある方

・感染拡大傾向時においても対人接触の機会が多い環境にある方

…東大和市内で、この「PCR等検査無料化事業」を行っているところを都のホームページで確認したところ、11か所の薬局があることが確認できました。

## ■ワクチン接種は進まず

…現在、市内では病院のほかに集団接種会場で新型コロナウイルスワクチンを接種できますが、その接種は進んでいない状況。市は予約なし接種も行うほか、市公式LINEでも週に1回程度「ワクチン接種をご検討ください」というメッセージを送信。

…しかし、接種は進まず、使用期限などの関係でワクチンを廃棄しなければならないことも増えています。市が初めてワクチンを廃棄した昨年3月から現在までの廃棄総数は11,405回分。市は毎回、「計画的にワクチン接種人数に合わせたバイアルの使用=解凍など、ワクチンの廃棄が生じないように努めます」とのことですが、これは、なかなか防ぎようがないのでは。

…ワクチンや抗原検査キットなど、多額の税金が投入されているコロナ対策。国はワクチン廃棄数を調査していません。もちろん、感染被害を最大限食い止めることが最優先ですが、今後、同じようなことが発生した場合の参考のためにも、記録を残し、検証することも必要では。また、その内容を公表することで、市民の(国民の)意識も変わると思います。

市政、議会について「自然体」「ざっくばらん」にレポート。駅前配布するレポートは毎回、最新号です。

## 【プロフィール】「私たちの身近にある市政、市議会。伝えることがスタートだと思います。」

1970年 東京都北区生まれ。父の転勤で1歳から群馬県で育つ。幼稚園からカギっ子。リーダーシップを発揮し、小学校で児童会長、中学校でも生徒会長を務める。大好きな音楽を究めようと武蔵野音楽大学に進学、卒業。卒業後は群馬の山あいの小学校で臨時教諭として担任を2年勤め、新しい試みで授業を活性化させ「元気印の先生」として保護者・生徒から親しまれた。/「学校」の外の一般社会で挑戦しようとベンチャー企業の(株)シートゥーネットワーク(※スーパーマーケットを経営。店頭公開から一部上場、外資系企業に転換)に社長秘書として入社。のち店舗現場に異動、同社で初の女性店長となる。月刊誌『日経WOMAN』のベンチャー企業で活躍する女性特集で取り上げられる。その後、人材開発部長を拝命。/『人を活かす』経営を学ぶため一念発起しカナダに留学。外から見た日本の将来に、漠然とした不安を感じる。帰国後は、不動産投資会社にて企画業務、税理士対応、広報、社員研修、組織活性化などに従事。2011年4月、初当選。現在3期目。顔の見える議員として、日々奮闘中。



東大和市 市議会議員  
和地 ひとみ

■ 連絡先 和地 ひとみ事務所 HP: <http://www.wachi1103.jp>  
✉ [wachi\\_hitomi@cocoa.ocn.ne.jp](mailto:wachi_hitomi@cocoa.ocn.ne.jp) 【電話・FAX】 042-516-8546  
〒207-0005 東大和市高木3-274-2-102